

銘柄分析レポート：北里コーポレーション（368A）

高度不妊治療に特化した試薬や凍結保存容器など主に「ディスプレイザブル（使い捨て）製品」を開発・製造し、世界中に販売している会社です。2025年6月に上場しました。

1 業績

2025年3月期は、競合各社の価格攻勢等による国内販売の苦戦、認証申請の長期化による中国における胚移植用カテーテル販売遅延、プロダクトミックスの変化に伴う売上原価率上昇、管理体制強化に向けた販管費の増加、上場準備費用の計上、海外送金詐欺に係る特別損失の計上などが重なり、増収ながら営業減益となりました。

	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
売上高(百万円)	9,348	10,080	10,302	10,947
売上総利益(百万円)	6,697	7,040	6,974	7,214
営業利益(百万円)	5,128	5,912	5,782	5,858
当期純利益(百万円)	3,370	3,972	3,788	3,895
営業CF(百万円)	2,130	4,500	3,526	3,870
設備投資(百万円)	-80	-85	-903	-239
コアFCF(百万円)	2,050	4,415	2,623	3,631
1株純利益(円)	84.3	99.3	94.7	97.38
1株配当金(円)	50	40	41	41
売上総利益率(%)	71.6	69.8	67.7	65.9
営業利益率(%)	54.9	58.7	56.1	53.5
投下資本回転率(倍)	1.3	1.4	1.3	1.3
ROIC(%)	71.5	82.6	73.1	71.3
ROE(%)	23.9	24.7	20.8	19.0
自己資本比率(%)	90.9	89.9	92.4	93.2

ROIC(%) = 営業利益 ÷ 投下資本 または ROIC(%) = 営業利益率 × 投下資本回転率

2 地域別売上高

法規制の緩さゆえ、不妊治療の患者を周辺国から集めているスペインに拠点を持っている欧州が伸長しています。重点国と位置づけている中国では、患者数減少、安価な自国製品の参入、公立病院での国産品優遇政策などにより、売上高の減少が続いている状況です。不妊治療の先進国である日本は、国産品、海外輸入品とも競合が多く入っており、ほぼ横ばいとなっています。

(単位:百万円)	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
日本	3,737	3,658	3,496	3,660
欧州	2,567	3,078	3,448	3,990
米国	453	950	1,022	1,120
中国	1,095	922	868	672
インド	432	517	467	593
その他	1,062	953	998	909
海外計	5,611	6,422	6,805	7,287
海外比率	60.0%	63.7%	66.1%	66.6%